

標 題 : CORONARY Diet Intervention with Olive oil and cardiovascular PREvention study (the CORDIOPREV study) : Rationale, methods, and baseline characteristics : A clinical trial comparing the efficacy of a Mediterranean diet rich in olive versus a low-fat diet on cardiovascular disease in coronary patients.
オリーブ油による冠状動脈食事介入と心臓血管系予防研究(CORDIOPREV 研究) : 論理的根拠、方法、および開始時の特徴 : 心臓血管系疾患に対するオリーブ油が豊富な地中海食事と低脂肪食事の有効性を比較する臨床試験

著 者 : J. Delgado-Lista, et al. (スペイン IMIBIC/Hospital Universitario Reina Sofia/Universidad de Cordoba 脂質・動脈硬化部)

掲 載 誌 : Am. Heart J. 2016 Jul; 177: 42-50

要 旨 :

冠状動脈性心疾患(CHD)は全世界の大きな健康負担を意味する。

しかし、食事習慣がこの疾患の進行に発揮する良く知られた影響にもかかわらず、二次予防で臨床転帰の発症を予防するための確立した科学的に正しい食事法はない。

オリーブ油による冠状動脈食事介入と心臓血管系予防研究(CORDIOPREV 研究、臨床試験番号 [NCT00924937](#))の目的は、開始時に CHD が確認された被験者において7年後の心臓血管系事象の複合発症率に影響する、バージンオリーブ油が豊富な地中海食事と低脂肪食事の能力を比較することである。

この目的で、我々はスペインから 1,002 人の冠状動脈患者を登録した。

開始時評価(2009-2012 年)には、詳細な面接および食事、社会的および生物学的な変数を評価するための測定が含まれた。

開始時特徴の結果 : スペインでの CORDIOPREV 研究は、高い BMI(過体重が 37.2%で肥満が 56.3%)および LDL コレステロールの中央値 88.5mg/dL(患者の 70.6%は<100mg/dL、20.3%は<70mg/dL)の母集団と示す。

参加者の 9.6%は現在喫煙者で、64.4%は喫煙経験者であった。

メタボリックシンドロームは、この母集団の 58%に存在した。

要約すれば、我々はここで CORDIOPREV 研究の論理的根拠、方法および開始時の特徴を述べ、この研究は CHD 再発の発症率に対するエクストラバージンオリーブ油が豊富な地中海食事の有効性を低脂肪食事と比較して、長期間の追跡研究で最初に試験する予定である。
